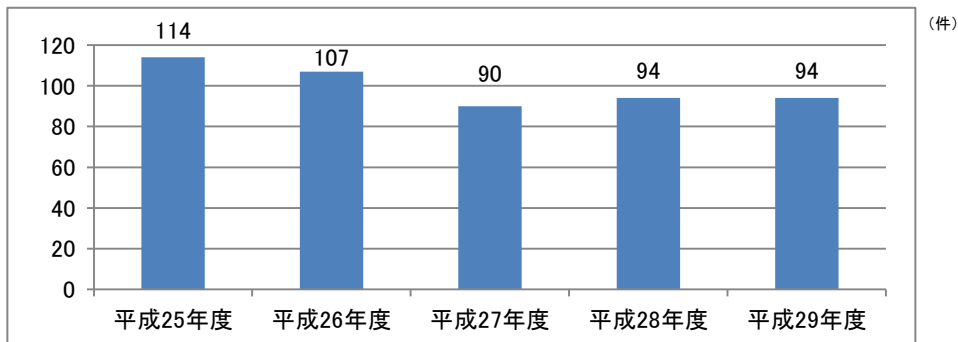


12 新生児特定集中治療室(NICU)実患者数

○項目の解説

新生児特定集中治療室(NICU)とは、低体重児や早産児、先天性障害のある新生児を集中的に治療する病床です。新生児集中治療専門の医師と看護師が、24時間体制で保育器の中の新生児を治療します。病院内外から重症の新生児を受け入れ、集中的な治療を行う意味で、産科小児科領域の医療の「最後の砦」ともいわれ、NICU実患者数は周産期医療の質と総合力の高さを表現しているものといえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

平成22年度の増床以来、NICU入院患者数は90～120名を推移し、平成29年度は94名でした。道北地区のNICUは当院と旭川厚生病院の2カ所のみで、旭川厚生病院は早産児が主体、当院は早産児に加え、外科的治療を必要とする新生児および体外循環など、より高度な医療が必要な児を受け入れています。今後も本地区の新生児医療の最後の砦としての機能をしっかりと守り、体制を維持発展させ地域周産期医療に貢献するとともに、赤ちゃんのご家族が安心して子育てできる支援を継続していきます。

○定義

医科診療報酬点数表における、「A-302新生児特定集中治療室管理料」及び「A-303総合周産期特定集中治療室管理料2-新生児集中治療室管理料」を算定する新生児特定集中治療室(NICU)にて集中的に治療を行った実人数です。(延べ人数ではありません。)

○算式

実数